

## 分析機能

次の機能を想定しているため、必要に応じてカスタマイズ等した上で構築すること。

### (1) 可視化機能

データを地図上に重ね合わせることで、専門的な知識がなくてもデータから地域交通の現状を可視化し、効率的な運行の確認、地域への説明や合意形成に活用できる機能

データを活用して、市町村等が自らまちづくりを見据えて地域交通を考え、判断できる機能

- ▶ 「人口メッシュ」と「バス停圏域」の重ね図による公共交通充足エリア可視化
- ▶ 「主要施設等」と「バス・公共ライドシェア・鉄道の路線」の重ね図による公共交通アクセス性の可視化
- ▶ 「人口メッシュ」と「運行本数別バス路線」の重ね図による供給量可視化
- ▶ 「バス等路線」と「タクシー事業者の営業所や区域」の重ね図による移動しにくい地域の可視化
- ▶ 「人流」と「バス路線や利用状況」の重ね図による需給ギャップ及び潜在需要可視化
- ▶ 「推計人口メッシュ」と「バス停圏域」の重ね図による将来的な需給ギャップ等可視化
- ▶ 地域住民の利用意向を反映した、バス停の配置、路線変更に伴う需要推計を支援するシステム

### (2) ダッシュボード機能

地図での表示に適さず数値等で確認すべきデータについて、表やグラフ、図により表示する機能

- ▶ 路線概要（便数、運行距離、始発終発時刻等の基礎データ）
- ▶ 路線別・停留所毎の利用状況グラフ
- ▶ 路線別・便毎の利用状況グラフ